

# 『延長産業連間表からみた我が国経済構造の概要』 説明資料

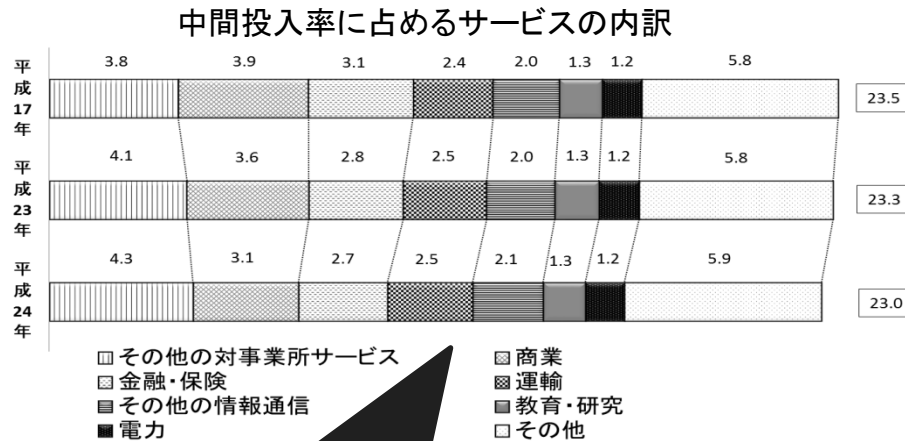
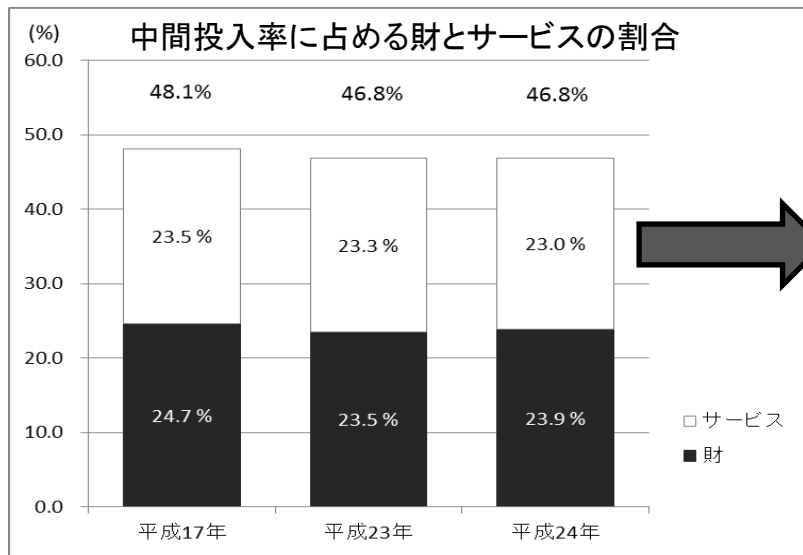
(平成24年簡易延長産業連間表、平成23年延長産業連間表)

平成26年4月25日

経済産業省大臣官房  
調査統計グループ 経済解析室

# 我が国経済構造の概要【投入構造】

中間投入率：国内生産額に対する中間投入額（生産のために自産業及び他産業から購入した原材料の額）の比率



## 製造業における中間投入に占める財とサービスの割合

		製造業				
		計	素材型	加工組立型	その他の製品	
中間投入率 (%)	平成17年	計	69.7	70.0	73.7	61.2
		「財」	50.1	53.0	53.5	38.7
		「サービス」	19.6	17.0	20.2	22.5
	平成24年	計	67.0	70.4	69.0	58.1
		「財」	48.9	53.5	51.6	36.7
		「サービス」	18.2	16.9	17.5	21.4
17年差	計	▲ 2.6	0.4	▲ 4.7	▲ 3.1	
	「財」	▲ 1.2	0.5	▲ 1.9	▲ 2.0	
	「サービス」	▲ 1.4	▲ 0.1	▲ 2.8	▲ 1.1	

会計士、デザイン、機械修理などのその他の対事業所サービスの割合が拡大し、商業や金融・保険などの割合が縮小

製造業における中間投入率を財、サービス別にみると、財に比べてサービスの中間投入率が平成17年と比較して低下幅大特に加工組立型産業における中間投入に占めるサービスの割合の低下が大きく、流通経路や企業内研究開発の見直しなどによるサービスコストの低減を図っていると考えられる

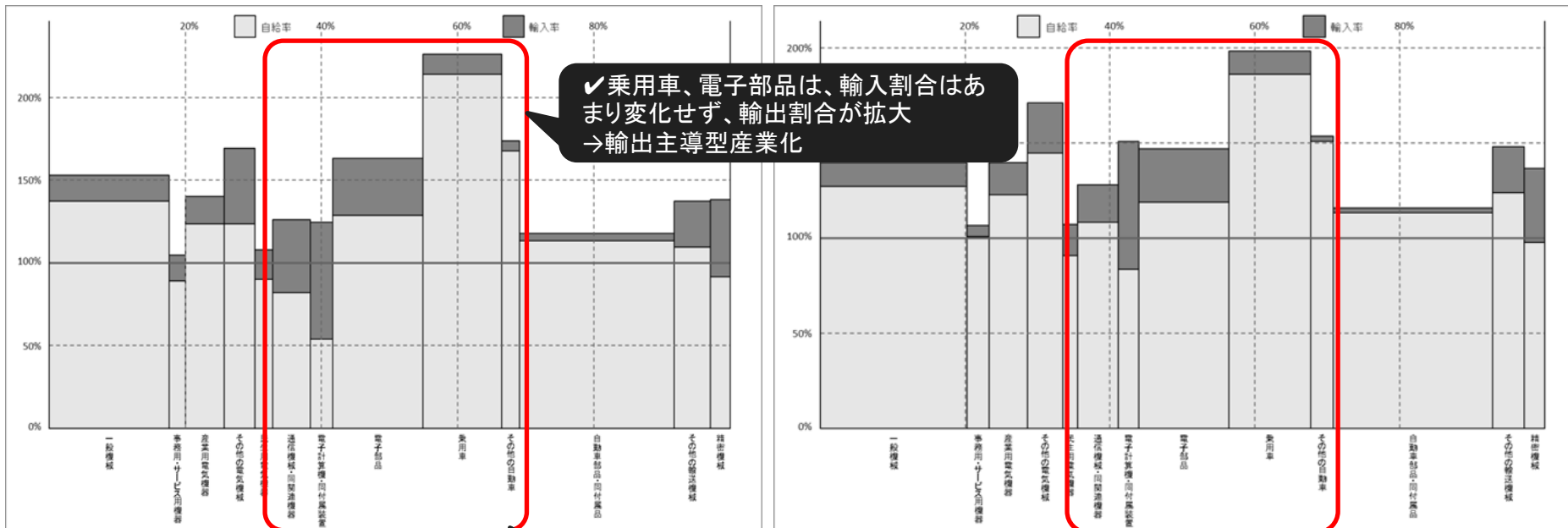
# 我が国経済構造の概要【スカイラインチャート】

スカイラインチャート：国内生産額＋輸入額（総供給）＝国内需要額＋輸出額（総需要）を部門毎に棒グラフとして、国内需要額100%として図示したもので、産業活動全般についての国内活動と海外とのやりとりの関係を把握するためのもの

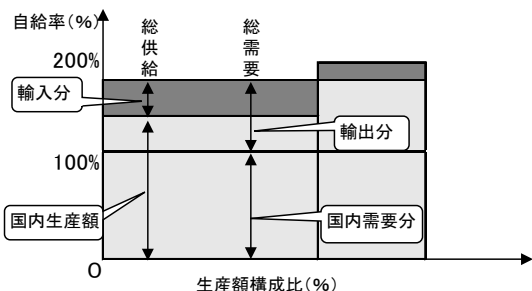
## 平成24年、平成17年における機械工業のスカイラインチャートの比較

【平成24年】

【平成17年】



✓通信機械・同関連機器、電子計算・同付属装置の輸入割合が拡大し、さらに電子計算機・同付属装置は輸出の割合が縮小



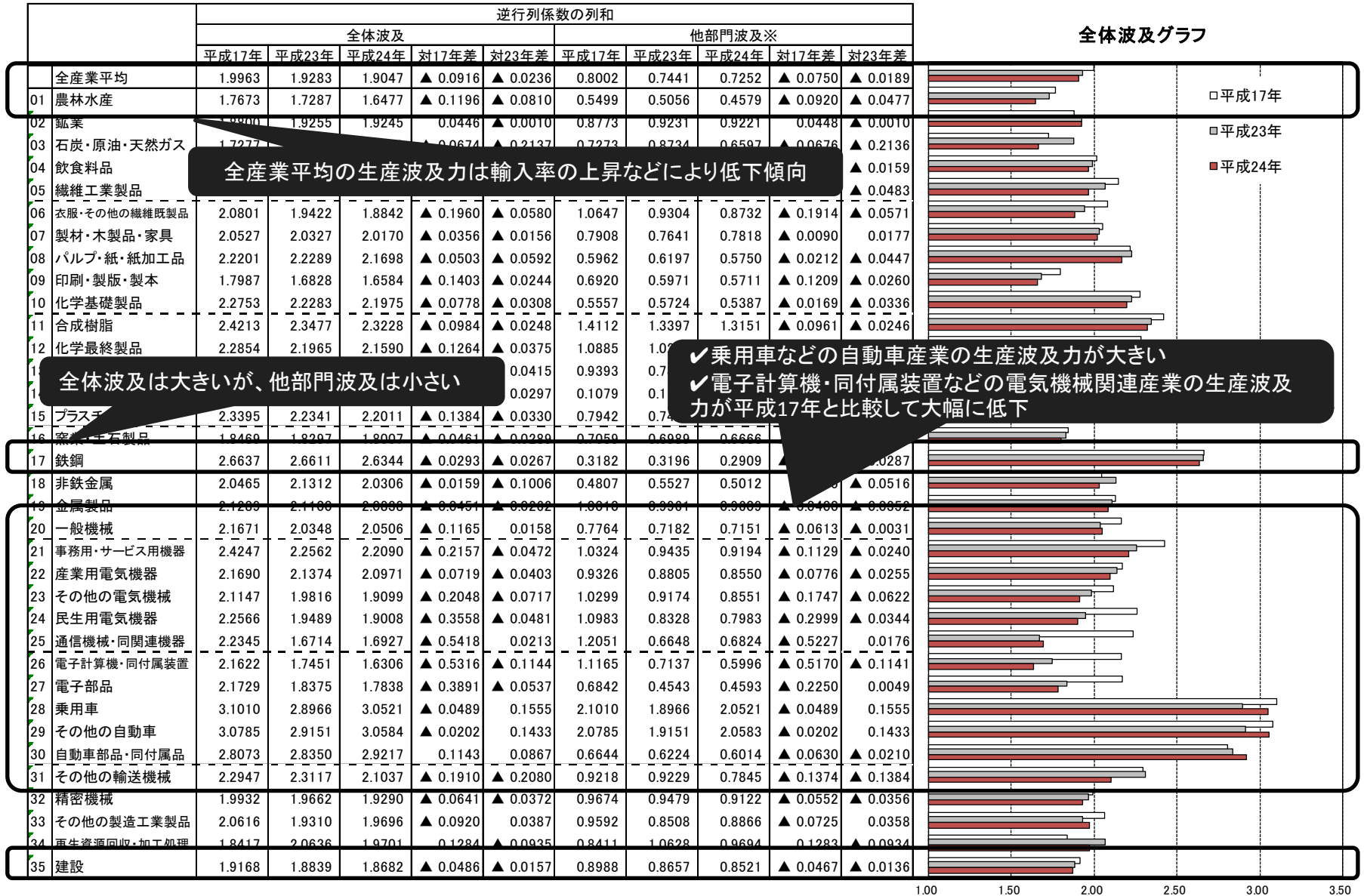
### 【スカイラインチャートの見方】

- ✓棒グラフの高さが高いほど、輸出の比率が高い産業  
→乗用車、その他の自動車、一般機械
- ✓棒グラフのグレー部分の割合が高ければ高いほど、輸入比率が高い産業  
→電子計算機・同付属装置、精密機械



# 我が国経済構造の概要【生産波及】

✓生産波及力:ある産業に対する最終需要が1単位増加したとき、直接・間接に誘発される自部門及び他部門の生産に与える総効果(産業連関表では逆行列係数の列和として表される)



全産業平均の生産波及力は輸入率の上昇などにより低下傾向

全体波及は大きい、他部門波及は小さい

✓乗用車などの自動車産業の生産波及力大きい  
 ✓電子計算機・同付属装置などの電気機械関連産業の生産波及力が平成17年と比較して大幅に低下

# 我が国経済構造の概要【生産誘発】

- ✓ 生産誘発額: 各年の国内生産額がどの最終需要によって誘発されたかを示したもの
- ✓ 生産誘発依存度: 最終需要の合計額に対する生産誘発額の構成比

【平成24・23・17年における生産誘発額、生産誘発係数、生産誘発依存度の比較】

	生産誘発額(10億円、%)									
	平成17年	平成23年	平成24年	17年差	対17年伸び率	23年差	対23年伸び率			
消費	575,746	560,102	557,518	▲ 18,228	▲ 3.2	▲ 2,583	▲ 0.5			
家計外消費支出	27,092	24,668	25,231	▲ 1,861	▲ 6.9	563	2.3			
民間消費支出	426,398	408,962	411,499	▲ 14,899	▲ 3.5	2,537	0.6			
政府消費支出	122,256	126,472	120,788	▲ 1,468	▲ 1.2	▲ 5,684	▲ 4.5			
投資	210,740	163,884	177,958	▲ 32,782	▲ 15.6	14,074	8.6			
公的資本形成	44,468	32,883	36,995	▲ 7,474	▲ 16.8	4,111	12.5			
民間資本形成	162,122	130,150	138,585	▲ 23,537	▲ 14.5	8,435	6.5			
在庫純増	4,150	850	2,379	▲ 1,771	▲ 42.7	1,528	179.7			
輸出	161,216	165,162	164,719	3,502	2.2	▲ 443	▲ 0.3			
最終需要計	947,702	889,147	900,195	▲ 47,507	▲ 5.0	11,048	1.2			
	生産誘発係数					生産誘発依存度(%)				
	平成17年	平成23年	平成24年	17年差	23年差	平成17年	平成23年	平成24年	17年差	23年差
消費	1.5379	1.5050	1.5002	▲ 0.0378	▲ 0.0049	60.8	63.0	61.9	1.2	▲ 1.1
家計外消費支出	1.6124	1.5540	1.5118	▲ 0.1006	▲ 0.0422	2.9	2.8	2.8	▲ 0.1	0.0
民間消費支出	1.5181	1.4743	1.4757	▲ 0.0424	0.0014	45.0	46.0	45.7	0.7	▲ 0.3
政府消費支出	1.5942	1.6033	1.5873	▲ 0.0069	▲ 0.0160	12.9	14.2	13.4	0.5	▲ 0.8
投資	1.8187	1.6761	1.6411	▲ 0.1776	▲ 0.0349	22.2	18.4	19.8	▲ 2.5	1.3
公的資本形成	1.8670	1.7916	1.7772	▲ 0.0898	▲ 0.0144	4.7	3.7	4.1	▲ 0.6	0.4
民間資本形成	1.8017	1.6433	1.6349	▲ 0.1667	▲ 0.0084	17.1	14.6	15.4	▲ 1.7	0.8
在庫純増	2.0052	3.7638	0.8332	▲ 1.1720	▲ 2.9306	0.4	0.1	0.3	▲ 0.2	0.2
輸出	2.1854	2.0749	2.0878	▲ 0.0976	0.0129	17.0	18.6	18.3	1.3	▲ 0.3
最終需要計	1.6803	1.6180	1.6105	▲ 0.0698	▲ 0.0075	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0

✓ 生産誘発額は、消費、投資、輸出の順で大きい

✓ 生産誘発係数は、製造品の割合が高い輸出が大きく、次いで投資、生産波及力が一般的に小さいサービスの割合が高い消費が最も小さい  
 ✓ 平成17年と比較して投資の生産誘発係数が大きく低下

✓ 生産誘発依存度は、消費、輸出は対23年では縮小し、対17年では拡大、投資は対23年では拡大し、対17年では縮小

# 我が国経済構造の概要【輸入誘発】

- ✓ 輸入誘発額: 各年の輸入額がどの最終需要によって誘発されたかを示したもの
- ✓ 輸入誘発依存度: 最終需要の合計額に対する輸入誘発額の構成比

【平成24・23・17年における輸入誘発額、輸入誘発係数、輸入誘発依存度の比較】

	輸入誘発額(10億円、%)									
	平成17年	平成23年	平成24年	17年差	対17年伸び率	23年差	対23年伸び率			
消費	42,305	43,871	43,970	1,664	3.9	99	0.2			
家計外消費支出	2,479	2,434	2,619	140	5.6	185	7.6			
民間消費支出	35,014	35,879	35,822	808	2.3	▲57	▲0.2			
政府消費支出	4,813	5,558	5,529	717	14.9	▲29	▲0.5			
投資	18,758	19,356	23,016	4,258	22.7	3,661	18.9			
公的資本形成	2,754	2,593	2,959	205	7.4	366	14.1			
民間資本形成	15,697	17,088	19,083	3,386	21.6	1,995	11.7			
在庫純増	308	▲325	974	667	216.7	1,299	▲400.0			
輸出	11,419	13,678	13,456	2,037	17.8	▲222	▲1.6			
最終需要計	72,483	76,905	80,442	7,959	11.0	3,537	4.6			
	輸入誘発係数					輸入誘発依存度(%)				
	平成17年	平成23年	平成24年	17年差	23年差	平成17年	平成23年	平成24年	17年差	23年差
消費	0.1130	0.1179	0.1183	0.0053	0.0004	58.4	57.0	54.7	▲3.7	▲2.4
家計外消費支出	0.1475	0.1533	0.1569	0.0094	0.0036	3.4	3.2	3.3	▲0.2	0.1
民間消費支出	0.1247	0.1293	0.1285	0.0038	▲0.0009	48.3	46.7	44.5	▲3.8	▲2.1
政府消費支出	0.0628	0.0705	0.0727	0.0099	0.0022	6.6	7.2	6.9	0.2	▲0.4
投資	0.1619	0.1980	0.2123	0.0504	0.0143	25.9	25.2	28.6	2.7	3.4
公的資本形成	0.1156	0.1413	0.1421	0.0265	0.0009	3.8	3.4	3.7	▲0.1	0.3
民間資本形成	0.1744	0.2158	0.2251	0.0507	0.0094	21.7	22.2	23.7	2.1	1.5
在庫純増	0.1487	▲1.4380	0.3413	0.1926	1.7793	0.4	▲0.4	1.2	0.9	1.6
輸出	0.1548	0.1718	0.1706	0.0158	▲0.0013	15.8	17.8	16.7	1.0	▲1.1
最終需要計	0.1285	0.1399	0.1439	0.0154	0.0040	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0

✓ 輸入誘発額は、生産誘発額と同様、消費、投資、輸出の順で大きい  
 ✓ 対17年伸び率で輸出、投資は大幅上昇となっているのに対し、消費は3.9%と小幅な上昇

✓ 輸入誘発係数は、最終需要計で上昇しており、日本の需要が輸入を誘発しやすい構造となってきている  
 ✓ 投資の輸入誘発係数の上昇幅が大きく、輸入を誘発しやすい。

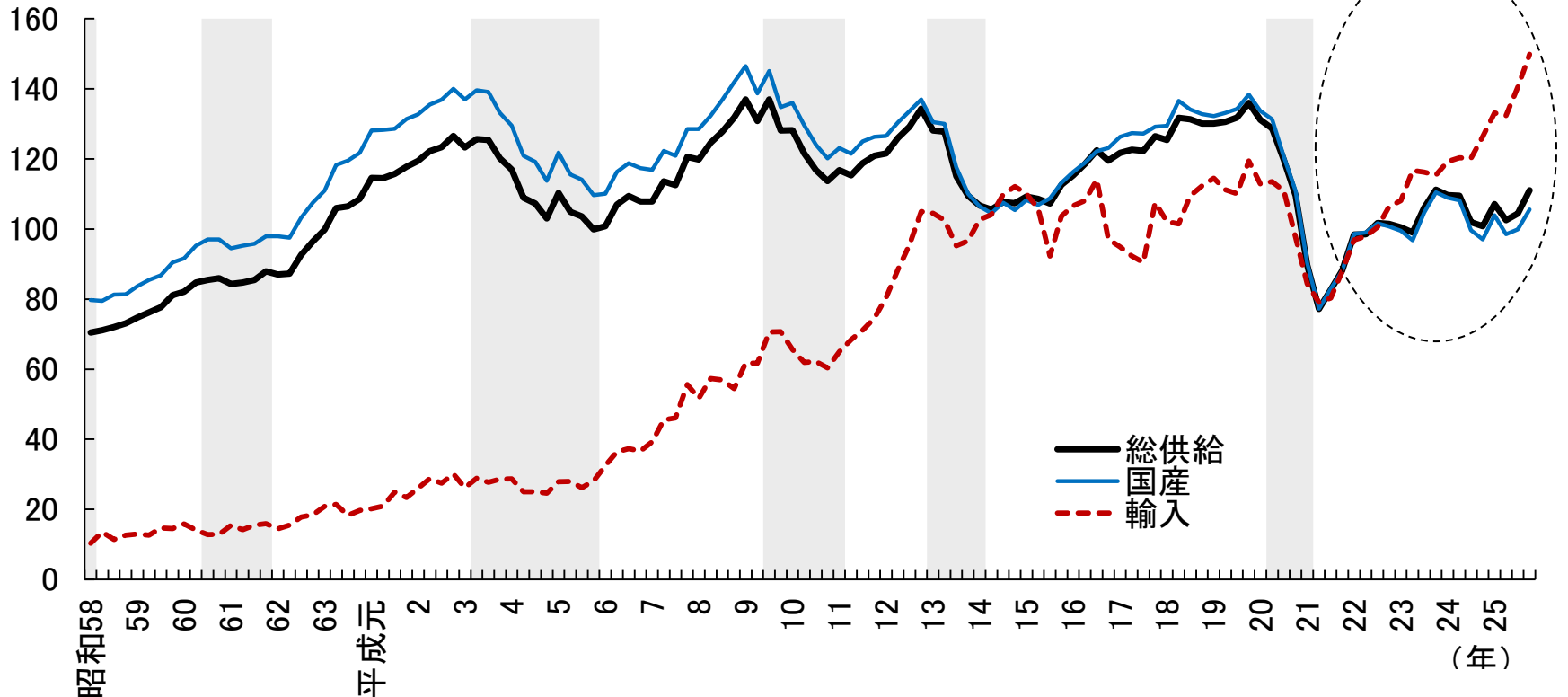
✓ 輸入誘発依存度は、消費は対17年、対23年で縮小しているのに対し、投資はともに拡大し、消費への依存が縮小している

(参考)

# 資本財総供給における輸入の増加

## 資本財総供給の推移

(22年=100、季節調整)



資料: 鉱工業総供給表